

事業所名 十字園グループホーム
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成19年10月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士
B:現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・JR 姫新線美作落合駅から車で約3分、中国自動車道落合インターからも程近い場所にある。小高い山郷には民家が点在し、収穫を待つ黄金色の稲田のあぜ道には紅い彼岸花が色を添えており、懐かしい日本の原風景の中に十字園グループホームはある。
- ・母体法人は、長年落合地域の社会福祉に貢献してきており、真庭市内や久米郡へも介護保険事業を展開している。この地域になくはない存在であり、地域の中に根ざしている。「ふれあいタウン十字園」は、介護保険事業の複合施設であり、ホームはその中にある。
- ・本来のグループホームの特性を生かしたホームである。ホーム内から見える風景は、入居者が長年住んでいた家の周りの風景であり、四季の移り変わりが今までの生活と変わりなく感じられる環境である。草を焼く匂いや鷹の声、台所から聞こえる野菜を切る音等、そのどれもが優しい。入居者はよく笑い、よく動き、誰もがここでの生活を楽しんでいる。
- ・管理者は創設者の社会福祉の理念を継ぎ、ふれあいタウン内の事業の統括をしている。社会福祉への見識が高く、事業の運営管理についての考えがしっかりとしている。その為、OJTへの取り組みや記録類が充実している。はっきりとした目的の上立ったホームはゆとりを感じさせる。職員の視点はとても優しく、認知症への専門的ケアが実践されている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

改善の余地として、取り立てて指摘すべき箇所は見当たらない。

- ・東北中山間地の高齢者介護の拠点となり、地域や地方自治体の興望を担い地域福祉の推進役としてホームの地域運営推進会議を活性化し、地域の方々・福祉関係者・当事者の声を集め、率先して高齢者福祉を進めていかれることを期待します。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>「安心できる生活環境を提供し、その人らしく暮らせるよう援助する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に恵まれた立地条件を活用し、季節を肌で触れ、視覚・聴覚など五感で感じられる生活を送ってもらい、入居者が以前に住んでいた環境と変わらない環境を提供することに努めている。その方針は、入居者一人ひとりの生き生きとした表情や、夫々の意思で動いているその活気のある状況から、その人らしい暮らしがうかがえてきた。 「質の高い介護サービスが提供できるよう知識の向上に努める」 ・福祉へのしっかりとした土台のある法人の中で、職員もそれぞれ自分の成すべきことが理解できている。質の高いサービスの提供のため、研修・学習が繰り返されている。 「本来のグループホームの特性を生かしたい」 ・加齢や病気などによって心身の状態が悪化しないよう、入居者が少しでも長く今の生活が続けられるように支援している。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような環境づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>・居室には馴染みのものを持ち込んでもらい、その人らしい部屋作りをして以前に暮らしていた我が家に近い環境作りを心がけている。入居者が大切にしてくれたものは、皆で大事にしていくようにしている。</p> <p>・周りの自然環境と、職員の専門的な援助技術に裏打ちされた穏やかな物腰・接し方(人的環境)によって、入居者は「自分はここにも大丈夫、安心だ」といった気持ちになる。ごく自然で気持ちの良い雰囲気があるホームにはある。</p> <p>・同じ建物の中に法人の様々な施設、サービス事業所がある。縦横の連携が密接に取れているため、自然と交流する機会も多い。ホームとの協力体制も整っており、入居者・家族共に安心である。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関との連携	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>・これまで生きてこられた経験を生かした取り組みを行ない、その方が好むものについては大いに支援をしていく方針である。また、その方が出来ないことや出来にくくなっていることが周りの方に分からないように、印象付けないように配慮している。</p> <p>・「落合街角展覧会」への出品もそうであるが、編み物や生け花、貼り絵や絵画などの趣味の物や、「鷹編み」などの生活の中での経験を生かしたものの発表の場を設け、目的を持ってもらい生き甲斐作りをしている。</p> <p>・プライバシー保護に関するガイドラインを設け、部屋に入るときのノックなどは勿論のこと、一人で落ち着いて過ごせる室内の環境整備に努めている。ボランティアや実習生・見学者などへの配慮も盛り込まれている。</p> <p>・トイレ誘導については、入居者の人格を尊重し、あからさまに言うことはなく、行きたい時に行きやすいような状況作りを大切にしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>・OJTの取り組みがあり、食中毒や感染、身体拘束やリスクマネージメントなどについてのマニュアルがきちんと整備されており、実際に生かされている。</p> <p>・事故やヒヤリハットについては、「ヒヤリハット報告書」や「事故顕末記」により管理者まで報告し、少なくとも翌日までは職員が検討し、再発防止に向けて取り組んでいる。一人ひとりのケア内容について、「気づきシート」により課題抽出し、よりきめ細かいアプローチが行なわれている。</p> <p>・防災訓練はホーム独自のものと施設全体で取り組むものがあり、地元の消防団が応援し、援助してくれている。何とも心強い話であり、長年、地域の福祉に携わってきたことによる産物であると思う。</p>		